

岡森連時報

発行
 岡山県森林組合連合会
 岡山市北区橋津491-1
 電話 086(236)6530
 FAX 086(236)6531
 ホームページ
<http://www.okmorien.or.jp>



第33回 岡山県民有林優良材 展示コンクールを開催 総取扱数量約5千³m



11月9日、県森連津山木材共販所において、『第33回岡山県民有林優良材展示コンクール』が開催されました。森林組合を始め多くの方々のご協力のもと、約5千³mの出荷をいただき、多くの優良材を揃えることができました。

コンクールへの出品は、県北を中心にスギ22点ヒノキ89点マツ2点の計113点あり、農林水産大臣賞のほか、7つの賞に対して12点が選出されました。

(各賞、受賞者は次ページのとおり)



▲小野会長挨拶

最高位の農林水産大臣賞には、新庄村のヒノキが選ばれました。当日、11時から行われた記念式典では、小野会長から、「新型コロナウイルス感染症防止の観点から昨年に引き続き、式典の規模を大幅に縮小しての開催となっておりますこと、ご理解を賜りますようお願いいたします。また、コロナ禍の中、関係者のご協力のもと、本年度も今特別市を開催出来ましたこと大変感謝申し上げます。そして、この度、受賞された皆様、誠におめでとうございませう。



▲当会会長によるせりの様子

審査の結果をお聞きしたところ、受賞された出品材はいずれも丁寧な手入れがされていたとこのことで、そのご努力に心より敬意を表す次第でございます。当会といたしましても、引き続き原木の有利販売に全力で取り組みとともに、情報提供や造



▲農林水産大臣賞
ヒノキ4m×径38~42cm



▲コンクールの表彰式の様子



▲せりの様子

材支援を積極的に行って参ります。」と挨拶がありました。





▲農林水産大臣賞
新庄村

- 〈受賞者一覧〉
- 農林水産大臣賞
新庄村 新庄村
 - 林野庁長官賞
木原造林(株) 勝英事業所 津山市
 - 近畿中国森林管理局局長賞
築山 健 鏡野町
 - 岡山県知事賞
西尾 泰充 鏡野町
 - 農林中央金庫岡山支店長賞
竹下 英美 真庭市
 - 岡山県木材組合連合会長賞
完田 二郎 真庭市
 - 全国森林組合連合会長賞
石原 正基 鏡野町
 - 岡山県森林組合連合会長賞
川端 正俊 美作市
大釜 環 美咲町
河本 哲之 津山市
山本千恵子 吉備中央町
仲田増太郎 新見市



▲当日の様子(新見木材共販所)

10月23日、県森連新見木材共販所において第45回新見地区木材まつりが開催されました。当日は天候にも恵まれ、澄み切った青空の下、主催の新見地区木材組合戸川組合長の挨拶から市が始まりました。当日は、市内をはじめ中四国や奈良県、兵庫県などから買い方等関係者が多く集まり、活気溢れる様子でした。また、総取扱量は、国産材の高値が続いている事もあり、本市では過去最多となる5千2百m³となりました。各賞については、別表のとおりとなりますのでご覧ください。

新見地区木材まつり

〈別表〉

岡山県知事賞	野村千代子
近畿中国森林管理局局長賞	渡邊直人
新見市長賞	仲田増太郎
岡山県木材組合連合会長賞	(株)武蔵組
新見市森林組合長賞	柴田政伸
新見商工会議所会頭賞	佐藤久夫
備北民報株式会社社長賞	(株)戸川木材
岡山県森林組合連合会長賞	小原博文
新見地区木材買方組合長賞	井田治實
新見地区木材組合長賞	(株)山祐



▲当日の様子(新見木材共販所)



▲作業道研修

緑の雇用集合研修は今年度もコロナウイルス感染防止対策を徹底して実施しています。感染状況は徐々に落ち着きを取り戻しており、研修生同士のコミュニケーションも少しずつ増やせればと考えています。さて、集合研修も残りわずかとなりました。10月のフォレストワーカー研修では、作業道作設や高性能林業機械を使った現場研修をしましたが、高度な知識・技術が必要なため、苦戦している研修生もみられました。取得した技術等を職場に持ち帰り共有及び発揮できるように頑張っていたと思います。11月からはフォレストリーダー研修も実施しており、効果的な

緑の雇用



▲FL(フォレストリーダー)研修

指導方法や現場管理等の研修を行いました。また林業研修棟(勝央町)も随時活用し、VRや伐倒練習機を使用した研修を行っています。



▲高性能林業機械(ハーベスタ)研修

全国代表者表彰について

10月28日に全国森林組合代表者大会が開催され表彰行事が行われました。

当県の受賞者は左記のとおりです。(敬称略にて記載させていただきます。)

栄えある表彰を受けられました方々に対しましては、心よりお祝い申し上げます。

○優良組合表彰

新見市森林組合

○功労表彰(永年勤続表彰)

単位組合代表理事

完田二郎 (真庭森林組合)

鳥越康生 (真庭森林組合)

職員

単位組合職員

年岡秀貴 (作州かがみの森林組合)

作業班員等

柳井清之 (作州かがみの森林組合)

上田剛士 (真庭森林組合)

瀧本知之 (真庭森林組合)

山口博 (新見市森林組合)

岸本健一 (美作東備森林組合)

○感謝表彰

系統組織の発展への功績

西本健三 (津山市森林組合)

定年退職した職員

森岡保博 (岡山県森林組合連合会)



第五十四回岡山県農林漁業功労者表彰について

岡山県農林漁業の振興のために献身的な活動を続け、その功績が特に顕著で優秀な個人又は団体を表彰する「岡山県農林漁業功労者表彰」の受賞者が決定しましたのでお知らせいたします。(敬称略にて記載させていただきます。)

農林水産部長賞

○林業部門

浮森 達三

○団体指導部門

竹本 俊郎

(新見市森林組合代表理事組合長)

長代 直行

(備中南森林組合代表理事組合長)

陳情について

令和4年度岡山県予算編成に関する各種団体個別懇談会に出席し自民党県議団へ陳情書を提出しました。

当会からは、次の事項を陳情しました。

本県の森林資源は、戦後造成された人工林を中心に本格的な利用期を迎えています。本年度は、「ウッドショック」の影響で一時的に木材価格は好転していますが、長期にわたる低迷により、森林所有者の経営意欲は著しく減退し、森林の多面的な機能の発揮への影響も懸念されています。

令和元年度からは、森林環境譲与税制度が創設され、市町村が主体となって森林経営管理を推進する「新たな森林管理システム」の運用が始まり、森林林業施策は大きな転換期を迎えています。

こうした中、森林組合系統は一丸となり、「林業の成長産業化」を現実のものとするために、森林の集約化、間伐、皆伐・再造林などの森林整備や担い手の確保・育成、県産材の安定供給と利用促進に努めているところであります。

つきましては、次の事項の実現に向け、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

1 脱炭素社会実現に向けた新たな仕組みづくり

「脱炭素社会」の実現に向けた国の二〇五〇年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロを目指す宣言や、SDGs「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材利用の促進に関する法律」(改正木材利用促進法)を踏まえ、二酸化炭素の吸収等に果たす森林や木材の役割は非常に大きなものがあります。

こうしたことから、県が現在進めている「企業との協働の森づくり」の制度を見直し、多くの企業の参画のもとで、県内一円において、少花粉苗木による

再造林の推進や県産材の利用促進が一層進むよう、県、企業団体、森林関係団体が参画した新たな仕組みづくりの構築を要望します。

2 森林経営管理制度の推進に向けた市町村への指導について

森林環境譲与税を効果的に活用し、森林経営管理制度を円滑に運用するためには、専門的な人材が少ない市町村に対して県の林業専門職員が出向するなど、市町村、県、地域の森林の現状に精通した森林組合が一体となり、森林所有者への意向調査を加速していく必要があります。

このため、県のリーダーシップのもと、地域ごとの実施体制作りと地域の実情に即した支援策が一層進むよう要望いたします。

3 適切な森林管理の推進支援について

森林の有する公益的機能を継続的に発揮し、災害に強い森づくりを進めていくためには間伐や作業路網整備、主伐後に放置されることなく少花粉苗木による再造林、下草刈りと継続的な森林管理が着実に進められることが重要であり、そのためには、国、県の補助制度の拡充と事務手続きがより簡素化されるよう要望いたします。

また、県北東部では、シカによる造林木への被害が、年々広域化し、鳥取県との県境地域では、ナラ枯れ被害が急拡大して

おり、こうした森林病虫害被害に対して駆除や被害拡大を強化するとともに、広葉樹利活用の一層の推進をお願いします。

4 生産性の向上と県産材の需要拡大について

県内の森林資源は、年々充実してきており、丸太の生産量は、ヒノキを中心に増加傾向にあるものの、製材品の出荷量は減少傾向にあります。当会においては、新たに、県内の森林認証林から生産された木材から、構造成用合板の製造販売を始めたところであり、この取組は、「持続可能な森林経営・管理」を実現と県産材の需要拡大に寄与できるものと考えており、令和4年度から、「おかやまの木の家づくり支援事業」の対象に県産材合板を加えていただきますようお願いいたします。

理事会を傍聴して

企画指導課 播磨 愛子

10月25日に本会会議室に於いて開催された第4回理事会に出席させていただきました。

私は、日々の業務を流れ作業にしてしまっている事がありますが、日々の業務一つ一つが理事会の資料として記載されているのを見て、反省しました。

今回、傍聴させていただいて、今後の仕事の進め方について再確認する機会となり、良かったと感じています。

森林の仕事ガイダンス

（公財）岡山県林業振興基金
全国森林組合連合会が主催する『森林の仕事ガイダンス』に今年も参加しました。

コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、福岡・大阪会場へはリモートで参加し、11月13日開催の東京会場へは、全国的にも感染が落ち着いていたことから会場に参加しました。

会場では、オンライン参加も含め、36都道府県がブースを設け、昨年より30名ほど多い方にご来場いただきました。

岡山県のブースには、12名の方にお越しいただき、当県の林業事業体等の説明を行いました。

1月には当基金が開催する『晴れの国おかやまの林業就業ガイダンス』がありますが、1人でも多くの方に参加していただき岡山県の林業の魅力を伝えたいと思います。



▲相談の様子
（『森林の仕事ガイダンス』東京会場）

県森連の新たな取組

岡山県森連では令和3年度から、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させるために、販売強化・コストの削減を図るなどの、新たな取り組みを行っています。

合板 中間土場

今回、

岡山県産100%の合板が誕生

この度、岡山県で生産された森林認証材を林ベニヤ産業（株）（本社：大阪市）と連携して「岡山県産材合板」として製品化しました。

合板は長さ182cm、幅91cm、厚さ1.2cmでヒノキとスギを重ねて貼り合わせた5層構造となっています。

なお、この取り組みの一部経費は岡山県から支援を受けています。



興味のある方または購入を検討される方は、県森連木材センター（086-284-0299）までご連絡下さい。



Informational graphic for '岡山県産材合板/岡山県森連' including logos, specifications, and contact info.

中間土場 (サテライト共販の取組)

県内の森林資源（人工林）は、充実してきているが、木材共販（原木市場）までの搬送コストが嵩み、間伐等の森林整備が進まない地域（県中南部）が見られます。

こうしたことから今後、森林組合や（公社）おかやまの森整備公社と連携して、中間土場を整備することで、間伐等森林整備の推進と収益の改善に寄与するものです。

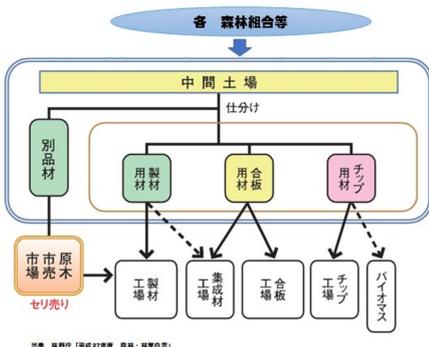


▶ 中間土場の様子（旧吉永町）

仕分けした木材（丸太）は、共販市に立会い購入した買方に販売しております。価格は直近の市況を適用しております。



▲荷下ろしの様子



次回は、所有林整備・ドローン事業について紹介予定です。